

平成29年度 第5回 木曾川水系流域委員会 【長良川遊水地について】

平成29年12月27日

国土交通省 中部地方整備局

木曾川上流河川事務所、木曾川下流河川事務所

- 平成29年7月の九州北部豪雨等、昨今災害が頻発している状況を受け、8月に開催したふれあいセミナーにおいても地域から様々な声が聞かれた。
- 財務省の諮問機関である財政制度等審議会財政制度分科会において、平成29年10月17日に「地役権補償方式を積極的に活用するなど、効率的に用地を確保すべき」との提言がなされたことを踏まえた対応を検討。

平成29年7月 九州北部豪雨

平成29年10月17日

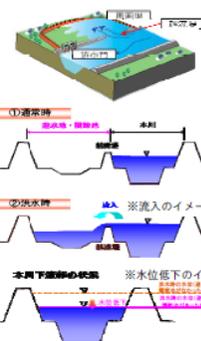
財政制度等審議会 財政制度分科会

(4) 調節池の効率的な整備 ~予算執行調査の反映~

- 河川改修事業の一環として、下流部の人口・資産が集積する地域の洪水氾濫を防ぐため、その上流部で調節池を整備し、洪水を一時的に貯留する治水対策を実施。
- 本年春の予算執行調査において、調節池が多くの用地確保等を伴う面整備であることを踏まえ、地役権補償方式、工期縮減、最適地整備等の効率的な整備手法とすることを提言。
- 予算執行調査を受けて、平成30年度予算より、着手している事業の計画の見直しを進めるとともに、新規事業にも適切に反映し、総事業費の抑制と工期短縮による効果の早期発現を図るべき。

調節池の役割・概要

洪水を一時的に貯留し、洪水の最大流量（ピーク流量）をカットすることにより、下流部の水位を下げ、氾濫を防止する施設。



予算執行調査の結果と改善点

(調査対象：直轄で整備済又は整備中の調節池22箇所)

1. 用地の確保

- 「地役権補償方式^(※)」における補償費が、用地買収価格の3割で設定。
- ⇒ 同方式を積極的に活用するなど効率的に用地を確保すべき。

高低	用地買収(買込)方式		地役権補償方式	
	方式別	高低別	方式別	高低別
高橋	鶴見川多目的治水地(鶴見市)	123.3	上野治水地群(三重県)	2.4
	御膳湖治水地(埼玉県)	98.0	一畑治水地群(埼玉県)	2.3
低橋	千歳川治水地群(北海道)	0.9	天和田治水地(北海道)	0.2
	浜坂治水地(鳥取県)	0.2	大久保治水地群(山形県)	0.1

(※) 平常時には調節池を農地等として所有者が利用し、洪水発生時のみ調節池として使用する権利を設定する方式

2. コスト縮減等

- 「洪水時の流量カット量(効果)」当たりの事業費単価は、下流部に大都市圏を持つ調節池で高くなる傾向。
- 調節池の事業期間は平均で28年と長期に及ぶ。
- ⇒ 土地利用状況、地価、効果等といった点から、整備する「最適地」を見極め、コスト縮減と工期縮減を徹底すべき。

【表2】整備効果の単価(事業費/洪水流量カット量) (単位:百万円/(㎥/秒))

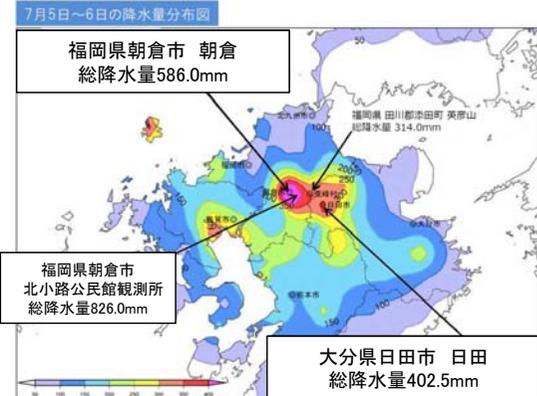
名称	単価	名称	単価
鶴見川多目的治水地(鶴見市)	533.8	宮田川治水地群(茨城県)	33.4
御膳湖治水地(埼玉)	566.5	中野治水地(兵庫県)	48.1
上野治水地群(三重)	358.5	相戸井治水地(茨城県)	49.2
天和田治水地群(香川県)	315.1	小田井治水地(名古屋市)	51.4

3. 効果発現(既存ストックの有効活用)

- 計画した洪水調節容量に対して洪水調節の実績が低い状況。
- ⇒ 調節池を再検証したうえで、**既存ストックの有効活用の観点から、適切な施設改良を実施すべき。**

名称	計画	実績
砂川治水地(北海道)	1,050	380
相川第一調節池(埼玉県)	3,090	2,000
菅平調節池(茨城県)	2,700	2,200
田中調節池(千葉県)	5,100	4,500
鎌倉野原治水地(栃木県)	17,100	10,700
鶴見川多目的治水地(鶴見市)	390	154
小田井治水地(名古屋市)	140	41
相田辺治水地(佐賀県)	80	67
大久保治水地群(山形県)	900	219

(注)完了後10年以上経過した調節池



※九州地方整備局資料を加工して作成



福岡県朝倉市山田地区の状況



小野川(大分県日田市小野地区)の状況